

漁業調査船「蒼鷹丸」(そうようまる)



蒼鷹丸は主に本州、四国沖合の太平洋において、サバ・イワシなど小型浮魚類の資源調査、魚の餌となるプランクトン調査、海底土採集による放射能調査、日本周辺における放射能モニタリング、黒潮の変動把握に向けた海洋モニタリング観測など、漁業に関連した海洋調査を行っています。平成30年度は、9回（延べ170日）の調査航海を行いました。

船舶番号	134348	通常速度	12ノット(時速約22Km/h)
総トン数	892トン	乗組員数	24人
長さ(全長)	67.5m	調査員数	最大9人
幅	11.4m	母港	横浜港金沢木材埠頭
機関出力	1,600馬力×2台	竣工	平成6年10月28日

<p>主な搭載設備（漁撈、調査・観測設備等）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● トロール設備 ● 観測用ウインチ ● 計量魚探 ● 全周型スキャニングソナー ● 水中TVロボット ● CTD ● OPCS ● ADCP ● 船内LANシステム
----------------------------	---